



皆様ご存知のように、センター試験も高1から廃止され、新しいシステムに移行することが決まっています。**これからの時代は卓越した知識や才能も重要ではありませんが、仲間とコミュニケーションをとりながら創造し共働して物事を進めていくことのできる人材が求められます。**人から指示されたことのみでなく、自ら考え、問題を見つけ出し、取り組み解決していく分析力、それを共有し共働するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力、また具体的なアクションに対しそのリアクションをモニターし、更なる刷新を厭わない粘り強さ……、そのような人間像を念頭に置いて次のステージでの教育に当たりたいと考え、検討を重ねてきました。このような力を養成するには教室での座学のみで対応するのは難し

く、感動を通して生徒の感受性を研ぎ澄まし、より高い人格形成を狙った新たなプログラムが必要です。

私たちは自ら感動した時に自ら動こうとします。**そしてこの情報化社会にあっては、その感動は安易な言葉で言い尽くされている感すらあります。生の体験を伴った感動により、人は人生レベルで変わっていきます。自分がどのような人間になるかの大きな動機付けになるものと期待して、このたび「フィリピン研修」を企画いたしました。**

フィリピンはあちこちで大変大きな社会格差を実感することができます。青少年にも問題点が見つけやすく把握しやすいスラムもあり、現地で地

道な奉仕活動を続けている人々との関係からそういった地域にも安全に入り込むことができます。社会構造の理解や問題点、その中で見つからぬ出口を求め喘ぐ人々、健常児ですら厳しい社会で、障害を持った人々や歳をとってもはや社会貢献という形で報いることのできない人々が社会の隅に追いやられること、またそのような人々に献身的に仕えようとする人々。そういったことを目の当たりにする体験こそ、自分がどんな人間になるかを考えるととても大きな要因になると思われます。そのような**体験をした教員・生徒からのメッセージを受け止め、豊かな人間性を育み、広い視野と高い志を持った人材を輩出したいという願いから、昨年度からフィリピン研修を文理科のプロジェクトとして始めました。**



乗り継ぎ地の台湾。ホテルまでバス移動。



移動中もメモはしっかりと。



ホテル到着。元気な生徒。



ホテルでの事前ミーティング①



ホテルでの事前ミーティング②



研修2日目：7/29(日) マニラ市内



サンチャゴ要塞



マニラ大聖堂



ホセ・リサル公園①



ホセ・リサル公園②



聖オーガスティン教会



研修3日目:7/30(日) マニラ・スラム街



フィリピン公共の乗り物=ジップニーで移動



スラムの子供たちに歌を披露



スラムの子供たちとの交流①



スラムの子供たちとの交流②



現地コミュニティの方々と一緒に



研修4日目:7/31(日) マニラ・死を待つ人の家/ICAM



ICAMの生徒たちと一緒に撮影



死を待つ人々の家①



死を待つ人々の家②



ICAMの生徒たちとの交流会①



ICAMの生徒たちとの交流会②